

# 広域避難者交流会 お正月準備の会 in 町田 概要報告

平成 28 年 2 月

広域避難者支援連絡会 in 東京 広域避難者交流会実行委員会

東日本大震災からまもなく 5 年が経とうとしています。現在も、震災により避難生活を余儀なくされている方々は全国で約 18 万 2,000 人（復興庁：H27.12）となっており、そのうち都内に広域避難されている方々は 7,118 名（東京都：H27.12）で、東京都が最も多く避難されている都道府県となっています。

広域避難者支援連絡会 in 東京 広域避難者交流会実行委員会では、多くの避難者が一同に介し、避難者同士の交流、また避難者と支援者が交流できる場を設けて参りました。その一つとして、お正月準備の会があります。これは、もともと東北で年間行事として行っていたもので、避難されている方にふるさと感じてもらいながら、交流を深めてもらうプログラムです。

昨年は板橋区で開催しましたが、町田市に避難されている方から「来年は町田で実施したい」との声があり、今年には町田市にて、「お正月準備の会 in 町田」を下記の通り実施しました。

**日時** 2015 年 12 月 26 日（土）10 時 30 分～14 時 00 分

**場所** 町田シバヒロ

（〒194-0021 東京都町田市中町 1 丁目 20-23）

**参加者** 328 名（本部で把握できた方のみ）

うち、避難者 213 名（子ども 7 名含む）

※避難者への周知は、各当事者団体を通しての呼びかけとともに東京都都内避難者支援課が実施する「定期便」等により行いました。



## 内容

### 1 開会式

(1) 実行委員 挨拶 木幡四郎（東北の絆サロン FMI 会 代表）

(2) 町田市長からのメッセージ

石阪丈一氏（代読：広域避難者支援連絡会 in 東京）

※なお、開会式・閉会式の司会は、避難当事者団体である東雲の会の高橋佑治さんと広域避難者支援連絡会 in 東京（中央労働金庫）の岩村真奈美が行いました。

### 2 お正月準備のお餅つき

・今回は、約 300 人分（90kg）のもち米を用意し、前日 25 日から仕込みを開始しました。お餅つき体験では、避難者と支援者、町田市の一般市民と一緒に杵を振りました。

・できあがったお餅は、きなこ・大根おろし・あんこ・納豆で味付けをした他、お雑煮（東雲の会）の具材にも使われました。

・また、イベント終了時には、避難者にのし餅のお土産が配られました。

### 3 交流企画〇×クイズ

司会：山田榮子（青空会）

・交流企画として、避難元地域にまつわる「〇×クイズ」が行われました。勝ち残った方には景品が渡されました。

### 4 閉会式

実行委員 挨拶 後藤恭子（みちのくまほろば会）

## 5 ブース出展

本イベントでは当事者団体（5団体）、支援団体・本部（6団体）など、併せて10のブース出展があり、食事の提供、交流スペース、フリーマーケット、町田市の観光案内などさまざまな出し物がありました（1ブースに複数の団体が出展している場合があるため合計が合わない）。

No	出展団体名	出展内容
1	広域避難者交流会実行委員会	お餅つき/お餅の提供
2	東雲の会	お雑煮の提供
3	人の輪ネット/どこでも足湯隊	足湯
4	明治安田厚生事業団	疲労度セルフチェック
5	双葉町埼玉自治会	生鮮野菜の販売/手芸品販売
6	はちみつ会	フリーマーケット
7	東北の絆 サロン FMI 会	浪江焼きそば/焼き鳥/フランクフルトの提供
8	じゃおクラブ	焼きそば/玉こんにゃく/荒波牡蠣/子どもコーナー
9	本部テント	参加者受付等
10	町田市観光コンベンション協会	観光案内

## 6 送迎バス

避難者の方に足を運んでもらいやすいように都内外から送迎バスを出しました。

No	ルート名	ルート
1	東雲ルート	江東区東雲住宅前 ⇄ 町田シバヒロ
2	荒川ルート	荒川区社会福祉協議会前大通り（明治通り） ⇄ 町田シバヒロ
3	足立ルート	足立区新田 ⇄ 足立区西新井 ⇄ 町田シバヒロ
4	板橋ルート	板橋区成増団地前 ⇄ 町田シバヒロ
5	中野・新宿ルート	中野区鷺宮都営住宅前 ⇄ 新宿区百人町都営住宅前 ⇄ 町田シバヒロ
6	西東京・三鷹ルート	田無駅・三鷹駅前 ⇄ 町田シバヒロ
7	埼玉県加須ルート	埼玉県加須市 ⇄ 町田シバヒロ
8	柏・松戸ルート	柏駅・松戸駅 ⇄ 町田シバヒロ

### 主催 広域避難者支援連絡会 in 東京 広域避難者交流会実行委員会

（実行委員メンバー）青空会、足立区新田ふるさと会、コスモス会、鷺ノ宮都営住宅自治会、東雲の会、東北の絆 サロン FMI 会、NPO 法人とみおか子ども未来ネットワーク、人の輪ネット、福島県被災者同行会、町屋 6 丁目ミニサロン、みちのくまほろば会、むさしのスマイル、かながわ東北ふるさと・つなぐ会、双葉町埼玉自治会、広域避難者支援連絡会 in 東京

（広域避難者支援連絡会 in 東京 参加団体）荒川区社会福祉協議会、いたばし総合ボランティアセンター、さわやか福祉財団、災害復興まちづくり支援機構、全労済、中央労働金庫、東京足湯プロジェクト、東京災害ボランティアネットワーク、東京都生活協同組合連合会、東京ボランティア・市民活動センター、東京労働者福祉協議会、連合東京

### 後援 福島県、宮城県、岩手県、東京都、町田市

### 協力 町田市社会福祉協議会、町田市観光コンベンション協会、じゃおクラブ

### その他 ご協力いただいた皆様

荒波牡蠣復活委員会応援隊/大木燃料店/大熊町復興支援員/小野路囃子連/株式会社ショッパー社/株式会社 鈴木建設/株式会社セレスポ/金光教/セカンドハーベスト・ジャパン/株式会社タウンニュース社/玉川大学/鶴川若竹幼稚園/鶴の羽の会/東京新聞社会事業団/東京都総務局復興支援対策部都内避難者支援課/東京 YMCA/中町三丁目町内会/浪江町生活支援課/浪江町復興支援員/ニッポンレンタカーサービス株式会社/東日本大震災支援全国ネットワーク (JCN) /双葉町復興支援員/まちだエコライフ推進公社/町田市岩手ふるさと会/明治ホールディングス株式会社/レンタルスクエア/ADRA Japan/Chiyoda Student Volunteers(CSV)/Gooce/その他 多くの個人の皆さま

※本事業はタケダ・赤い羽根 広域避難者支援プログラムの支援金を受け実施しました。

タケダ・赤い羽根

広域避難者  
支援プログラム





お正月準備の会 in 町田開会式 実行委員(サロン FMI 会 木幡四朗さん) の挨拶。その後、町田市長からメッセージを頂きました(実行委員による代読)。



当日の司会は、避難当事者団体「東雲の会」代表の高橋佑治さんと広域避難者支援連絡会 in 東京の岩村真奈美(中央労働金庫)の2人が務めました。



東京だけでなく、埼玉や千葉、神奈川からも多くの参加がありました。参加者は328人、うち避難者213人となりました(子ども含む)。



お餅つき体験では、避難者と地域住民の方が一緒になって楽しみました。つきたてのお餅は、きなこ・大根おろし・あんこ・納豆で味付けをして、参加者に配られました。



「東雲の会」による、お雑煮の炊き出しもありました。



屋外と大テント内に、ふれあいスペースを設けました。多くの方が好天のもと、他地域の方とも交流をされていました。





当日は、当事者団体 5、支援団体・本部 7 のブース出展がありました。「東北の絆 サロン FMI 会」の浪江焼きそばは、行列ができる程の大盛況でした。



宮城県石巻のブランド牡蠣「荒波牡蠣」の販売もありました。提供の「じゃおクラブ」からは、他におもちゃ作り体験や子どもコーナーの出展もして頂きました。



支援団体から健康ストレスチェックや健康体操などを行うブースもあり、避難されている方も楽しく参加されていました。



埼玉からは、双葉町埼玉自治会の方々がブース出展し、野菜や手芸品の販売を行いました。都県域を超えた貴重な交流の機会となりました。



交流企画では、景品付きの「〇×クイズ」が行われました。避難元及び開催地の町田市にちなんだクイズが出され、出題先の各地域に関わりを持つ方々が問題を読み上げました。



閉会式では、実行委員より「みちのくまほろぼ会」代表の後藤恭子さんが、避難当時の思い出や現在の心境なども含め挨拶を行いました。